

# 北里大学病院・北里大学東病院を受診された患者さまへ

当院では下記の臨床研究を行っています。

本研究の対象者に該当する可能性のある方で診療情報等を研究目的に利用または提供されることを希望されない場合は、下記の問い合わせ先にお問い合わせ下さい。

研究課題名 (受付番号/承認番号)	Tm mapping 法を用いた整形外科領域感染症の迅速検出・同定に関する研究
当院の研究責任者 (所属・職位)	うちやまかつぶみ 内山勝文 (北里大学医学部医学教育研究開発センター医療安全・管理学研究部門)
他の研究機関および 各施設の研究責任者	仁井見英樹(富山大学医学部臨床分子病態検査学講座 准教授)
本研究の目的	Tm mapping 法は培養を行わず、未知の起因菌を同定する新たな遺伝子検査であり、すでに血液検査に応用されています。この研究は Tm mapping 法を関節液、膿あるいは手術で採取した汚染軟部組織に応用し整形外科領域感染症診断での有用性を検討することを目的とします。
調査データ 該当期間	<b>2014 年年 4 月 1 日から 2027 年 10 月 31 日までの情報を調査対象とします。</b>
研究の方法 (使用する試料等)	対象となる患者さま 整形外科領域感染症(人工関節周囲感染、化膿性関節炎、化膿性脊椎炎、骨髄炎、結晶性関節炎、関節リウマチなど)が疑われる方。 利用する情報 関節液、膿、汚染軟部組織を対象とし、通常診療の検査で余った検体を用いて Tm mapping 法で原因菌を検出・同定します。患者さんから提供いただくデータは以下の通りです。 性別、年齢 身長、体重、体温 血液検査所見 基礎疾患・合併症 併用薬 細菌検査結果
試料/情報の 他の研究機関への提供 および提供方法	本研究で得られたデータは、個人が特定されない形で保存されます。個人が特定される形で情報を公開することは一切ありません。データは保存され2次利用される可能性があります。その場合は再度、倫理委員会の承認を得て利用されます。データは分析、検討され学会、医学雑誌等に公表される可能性があります。
個人情報の取り扱い	あなたの名前や住所などの個人的な情報が外部に洩れることがないよう、個人情報を保護いたします。研究の結果は学会、医学雑誌等に公表される可能性があります。あなただとわかるような個人が特定される形で情報を公開することは一切ありません。
本研究の資金源 (利益相反)	本研究に関連し開示すべき利益相反関係にある企業等はありません。
お問い合わせ先	所属・職位:北里大学医学部医学教育研究開発センター医療安全・管理学研究部門 担 当 者:内山勝文 電 話: 042-(778)-8111 (北里大学病院代表)
備考	